

育成モノづくり人材

Vol. 43

神戸市立科学技術高校

神戸市立科学技術高校は市立神戸工業高校と市立御影工業高校を再編統合し、新しい総合型工業高校として2004年に開校した。



井町校長

機械工学、電気情報工学、都市工学の基幹3学科に加え、基礎的・総合的な学科である科学工学科を擁する。科学工学科は大学や高専などへの進学を目指す学生が17%、他の学科に比べて高いが、この進学率をさらに伸ばそうと16年度から理工学系の

理工学系進学率引き上げ

指し、科学に関する基礎知識と工業の幅広い基礎的技術を習得する学科。近畿では大阪市立都島工業高校や京都市立京都工学院高校に同様の学科がある。同学科の進学率(16年度)は理工学I・IIを新設。2年時から設置する。講義と実験を通じて工学のさまざまな分野の知識を身につける。I・IIと理工学系の科目の選択の仕方に

【DATA】▷校長=井町豊志氏▷所在地=神戸市中央区▷学科構成=機械工学科、電気情報工学科、都市工学科、科学工学科▷生徒数=1185人(5月1日現在)▷主要設備=マシニングセンター、レーザー加工機、NC旋盤、3D CAD、3Dプリンター、プリント基板加工機、電子顕微鏡、原子吸光分析機など▷主な進路=川崎重工業、神戸製鋼所、新日鉄住金、トヨタ自動車、J R西日本、三菱重工業、三菱電機、大阪教育大、大阪工業大、大阪産業大、大阪電気通信大、立命館大、甲南大など



積極的に行う方針だ。同校では、立命館大や甲南大と高大連携を進めている。立命館大でウェブ授業を月一足歩行ロボットやマ

レスキューロボットの構築設計、「空飛ぶ車いす」と呼ばれる国際協力活動などさまざまなテーマに取り組んでいるのも特徴。生徒たちに数回受講に体験から学んでほしい、甲南大では夏休みには積極的に参加を後押ししている。8月に神戸市で開かれた「第16回レスキューロボットコンテスト」の全国大会に、大井町豊志校長は「その学や高専にまじって同校のチームが出場するす子にとつなど実績も豊富。同校では、早い段階から大の優勝、上位入賞の記念トロフィーなどが飾られている。」(神戸編集委員・村田光矢)

(金曜日に掲載)